

賴雲莊副教授

2024.8

學歷

日本熊本大學社會文化科學研究科(文學博士)

日本熊本大學文學研究科(文學碩士)

淡江大學日本語文學系(文學士)

國立台中商業專科學校 應用外語科日文組

學術專長

日本近代文學、日本語教育、大學社會責任實踐計畫(USR)

職歷

高雄市立空中大學外文系 兼任副教授

中國文化大學日本語文學系 兼任副教授

東吳大學日本語文學系副教授

東吳大學日本語文學系 助理教授

東吳大學日本語文學系 兼任助理教授

中國文化大學日本語文學系 助理教授

學會職歷

台灣日本語文學會第19屆秘書長

台灣日本語文學會第18.20.21屆理事

台灣日本語文學會第17屆候補理事

台灣日本語文學會第13.14屆監事

台灣日語教育學會第14.15屆理事

台灣日語教育學會第12.13屆常務監事

台灣日語教育學會第11屆監事

擔任台北市文化局文化北投溫泉博物館文化導覽志工

所屬學會

日本近代文學會、台灣日本語文學會、台灣日語教育學會、台灣日本研究學會

一、 個人專書

1. 『戦中戦後における太宰治創作の軌跡—創作方法と言葉の逸脱をめぐって—』
(致良出版社、103年7月、ISBN 978-957-786-775-9)

二、 期刊論文

1. 賴雲莊 (2006年12月) 「翻案小説『走れメロス』における『信実』」『台灣日本語文學報 21』、台灣日本語文學會、pp.47-69
2. 賴雲莊 (2008年6月) 「太宰治『津軽』論—「表」と「裏」の作品構造について—」『台灣日本語文學報 23』、台灣日本語文學會、pp.1-26、國科會計畫：NSC96-2411-H-034-010
3. 賴雲莊 (2009年12月) 「太宰治『惜別』の創作方法—同時期作品との関連性をめぐる—考察—」『台灣日本語文學報 26』、台灣日本語文學會、pp.47-64、國科會計畫：NSC96-2411-H-034-010
4. 賴雲莊 (2011年7月) 「太宰治「思ひ出」試論—芥川龍之介との関連性から—」、『日本語日本文学 36』、輔仁大學外語學院日本語文學系、pp.64-77
5. 賴雲莊 (2011年12月) 「太宰治『パンドラの匣』論—書簡形式の小説における語りについて—」『台灣日本語文學報 30』、台灣日本語文學會、pp.53-75
6. 賴雲莊 (2012年12月) 「太宰治『ヴィヨンの妻』論—時代背景と語りの方をめぐって—」『淡江日本論叢 26』、淡江大學日本語文學系、pp.75-96
7. 賴雲莊 (2012年12月) 「太宰治『トカトントン』論—アイロニーとしての「幻聴」」『台灣日本語文學報 34』、台灣日本語文學會、pp.127-152
8. 賴雲莊 (2014年3月) 「太宰治「冬の花火」論—「絶望」と「桃源境」をめぐって—」『国語国文学研究』第49号、熊本大學國語國文學會、pp.189-201

9. 賴雲莊 (2014 年 7 月) 「太宰治『正義と微笑』論—日記体小説の体裁をめぐって—」『中日文化論叢 31』、中國文化大學日本語文學系、pp.31-52
10. 賴雲莊 (2019 年 3 月) 「日本語教育の一環としての日本文学—台湾の教室で読む日本近代小説—」『説林』67、愛知県立大学国文学会、pp.1-13
11. 賴雲莊 (2020 年 12 月) 「太宰治後期作品における〈家庭〉—「家庭の幸福」を中心に—」『台湾日本研究』第 14 期、台湾日本研究學會・中日文教基金會出版、pp.123-144
12. 賴雲莊 (2022 年 4 月) 「日本語文学科の USSR への試み—比較文学的コミュニケーションの実践—」『比較文化研究』第 147 号、日本比較文化学会、pp.13-15
13. 賴雲莊 (2022 年 8 月) 「USSR と日本語教育—日本語文学科の新しい試み—」『台湾日本語教育学報』38、台湾日本教育学会、pp.118-142
14. 賴雲莊 (2024 年 7 月) 「川端康成「金糸雀」の日本語教育での応用—画家への返信を書くことについて—」『日本語日本文学』第 53 輯、輔仁大學日本語文學系、pp.234-249

三、研討會論文

1. 賴雲莊 (2006 年 7 月) 「太宰治『走れメロス』論」『2006 年中日社會與文化學術研討會論文集』(中國文化大學日本語文學系所) 74 頁~84 頁
「2006 年中日社會與文化學術研討會」(2006 年 5 月 13 日口頭發表)
於中國文化大學
2. 賴雲莊 (2007 年 5 月) 「太宰治『津軽』試論」 「台湾日本語文學會第 222 次例會」(2007 年 5 月 19 日口頭發表)於台北 YMCA 城中會所
3. 賴雲莊 (2008 年 5 月) 「検閲制度下の太宰治『津軽』試論」『東亞日本學會 2008 年度春季國際學術大會論文集』66 頁~73 頁「東亞日本學會 2008 年度春季國際學術大會」(2008 年 5 月 3 日口頭發表)於韓國首爾

4. 賴雲莊 (2009年7月) 「太平洋戦争末期太宰治の創作方法—『惜別』を中心に—」 「2009JSAA-ICJLE 国際研究大会」、2009年7月16日口頭発表、於澳洲雪梨新南威爾斯大學
5. 賴雲莊 (2009年9月) 「夏目漱石『三四郎』試論—三四郎の「矛盾」の行方—」 「2009年 日本近代文學・語學・文化國際學術研討會—漱石在臺灣—」、2009年9月19日口頭発表、於淡江大學
6. 賴雲莊 (2010年8月) 「太宰治『パンドラの匣』論—書簡形式の小説における語りを中心に—」 (「2010世界日語教育大會」、2010年8月1日口頭発表、於政治大學)
7. 賴雲莊 (2010年10月) 「太宰治の日記体小説—『正義と微笑』を中心に—」 (「2010年臺灣大學日本語文創新國際學術研討會」、2010年10月23日口頭発表、於台灣大學)
8. 賴雲莊 (2011年5月) 「芥川龍之介と太宰治—太宰治「思ひ出」を中心に—」 (「淡江大學日本語文學系芥川龍之介與東亞國際學術研討會」、2011年5月7日口頭発表、於淡江大學)
9. 賴雲莊 (2011年5月) 「太宰治の戦後—「冬の花火」「春の枯葉」を中心に—」 (「日本語・日本文學・日本文化學國際學術研討會—以跨域性及涵括性的日本語教育為目標—」、2011年5月14日口頭発表、於中國文化大學)
10. 賴雲莊 (2012年9月) 「太宰治「ヴィヨンの妻」試論」 (東吳大學日本文學教材分析與研究社群讀書會、2012年4月9日、於東吳大學)
11. 賴雲莊 (2013年3月) 太宰治「太宰治と『聊齋志異』—「清貧譚」を中心に—」 (第1回アジア未来會議「世界の中のアジア：地域協力の可能性」、2013年3月、於泰國曼谷)
12. 賴雲莊 (2013年11月) 「太宰治『トカトントン』試論—「トカトントン」から見る「私」の苦悩—」 (「台灣日本語文學會第288回例會」、2013年11月17日口頭発表、於台北城中YMCA)
13. 賴雲莊 (2018年8月) 賴雲莊、「太宰治後期文学における〈家庭〉—「家庭の幸福」を中心に—」、「第4回アジア未来會議」2018年8月26、於韓國・ソウル

14. 賴雲莊 (2019 年 10 月) 賴雲莊、「太宰治文学における「移動」」、台湾大学日本語文創新國際學術研討會、2019 年 10 月 5 日、於台湾大学
15. 賴雲莊 (2019 年 9 月) 賴雲莊、「大学日本語教育におけるキャップストーン的位置づけ—東吳大学「総結日本語文」：言語と文化の場合—」、東アジア日本研究者協議会 第四回國際學術大会、2019 年 11 月 2 日、於台湾大学
16. 賴雲莊 (2021 年 9 月) 賴雲莊、「日本語学科のUSR への試み」、日本比較文化学会第 43 回全国大会・2021 年度國際學術大会、2021 年 9 月 19 日、於東京未来大学 (オンライン)
17. 賴雲莊 (2021 年 12 月) 賴雲莊、「USR と日本語教育—日本語文学科の新しい試み—」(台湾日本語文学会 2021 年度大会「ポストコロナの日本語文学研究」、2021 年 12 月 11 日、於東吳大学 (オンライン))
18. 賴雲莊 (2022 年 11 月) 賴雲莊、「文学作品の「日文習作(一)」の授業での応用—川端康成「金糸雀」を例に—」2022 年臺灣大學日本語文創新國際學術研討會、2022 年 11 月 5 日、於臺灣大學 (オンライン)
19. 賴雲莊 (2023 年 9 月) 賴雲莊、「川端康成「金糸雀」の日本語教育での応用—画家への返信を書くことについて—」、2023 年度輔仁大学日本語学科学術シンポジウム「川端康成没後 50 年シンポジウム—〈転生〉する川端康成—」、2023 年 9 月 16 日、於輔仁大学

四、國科會研究計畫

- 「第二次世界大戰檢閲制度下日本作家之創作實態」(NSC96-2411-H-034-010)
- 「太宰治戦後文學的軌跡—敗戦後の希望與絶望—」(NSC101-2410-H-031-066-)

五、執行東吳大學教師社會責任實踐計畫(高教深耕計畫子計畫)

結合日語教育之北投溫泉歷史與觀光資源認識及創生:以新北投地區為中心
(2010/5~2010/12)

「士林學」國際化(2023/05-2023/12)

六、演講及講座

- 賴雲莊、「没落貴族の挽歌：太宰治『斜陽』」、2011 年 6 月 1 日、於国立交通大学)
- 賴雲莊、「台湾の大学における日本語文学科—東吳大学日本語文学科を例と

して一」「熊本大学大学院社会文化科学研究科 特別セミナー」、2012年3月28日、於熊本大学

●頼雲莊、「台湾日語教育現況介紹」、2014年3月30日、於中国広西大学日本語学科

●頼雲莊、「東呉大学日本語学科における日本文学教育の現状」、「宮崎大学第4回日本語教育フォーラム」、2017年10月27日、於宮崎大学

●頼雲莊、「太宰治と台湾作家の戦中戦後」「世界展開する海外日本研究者に学ぶ」シンポジウム、連動するアジア・日本・愛知—アジア太平洋戦争と知識人」、2018年10月17日、於愛知県立大学

六、書籍解説、雑誌掲載（中文）

●頼雲莊、「導讀奔騰的時代太宰治的熱情與青春之筆」

（黃友玫譯『新譯無頼派太宰治生而為人的浪漫—收錄最青春熱血的〈跑吧梅樂斯〉等六篇小小說』、紅通通文化出版社、2016年3月）

●頼雲莊、「導讀柴米油鹽醬醋茶的寒暑日常」

（侯詠馨譯『新譯織田作之助：大阪風情繪草紙—收錄〈廣告氣球〉、〈賽馬〉等，庶民日常的笑與淚』、紅通通文化出版社、2016年3月）

●頼雲莊、「人生笑談開朗幽默的太宰治」

（『聯合文學 NO.390』2017年4月號、聯經出版事業股份有限公司、2017年4月）